

パッキングのコツ

①入れる順番

- 移動中に使わないものは奥へ

商社マンの前田さんの場合は、ワイシャツ→下着・靴下・Tシャツ→洗面用品・薬→移動中に使うもの(本、書類など)の順で詰める

- 重いものは下へ

バッグを縦にすると重いものが下に落ちて中身がぐちゃぐちゃになるので注意

②探しやすい工夫

- メッシュの袋を活用

洗濯ネットを使えば帰路は洗濯物入れに

- ジッパー付き透明ビニール袋を活用

薬やこまごまとしたものを入れる。予備があると安心

- バッグのインナーケース(内袋)を活用

デジタルカメラや音楽プレーヤー、筆記用具などはインナーケースに入れてゴムバンドで固定

③省スペースの工夫

- ワイシャツ、下着類は3日分で十分

できるだけホテルのクリーニングサービスを利用し、余分に持っていけない。日本でワイシャツをクリーニングに出すとき、「ハンガー仕上げ」にしておけば、ホテルのクローゼットにそのまま掛けられる

- タオル、下着類はクッション代わりに

靴下やTシャツなどは荷物の隙間を埋めたり、お土産のクッション代わりに活用

④シワ、形崩れ、湿気対策

- 衣類を風呂敷で包む

風呂敷は湿気を吸収する。ホテルに着いたら、そのまま引き出しへ

- シャツ

背中部分に厚紙を当てて丸め、太いゴムで止める

- ストールやスカーフ

ラップの紙芯に巻く

(注)前田さん、美月さんの話を参考に作成

出張の荷物、上手に収納

出張の際に頭を悩ませるのは、荷物をどのように詰めるか。コンパクトにまとめたものの、必需品が欠けていても困る。海外出張ともなれば、パッキングの仕方でも移動時間や空港での手続きが、案にもなれば苦にもなることがしばしばだ。出張の達人2人にノウハウを教わった。

三井物産に勤務する前田健さん(37)は仕事柄、月1回は海外出張に行く。移動の際に重視するのは、両手をふさがずに、片手で移動できること。キャスター付きキャリーバッグを使い、その上にパソコンなどを入れたビジネス用バッグを載せて一体化して運ぶ。

キャリアバッグの大きさは国際線の機内に持ち込めるサイズで最も大きいタイプ。荷物は基本的に預けないという。「紛失するリスクがある

し、目的地で受け取りに時間がかかるという理由からだ。前田さんのパッキングのルールは、「移動中に使わない

ものは一番奥」。「奥」というのは、バッグを寝かせて詰める場合、一番底を指す。そこにまず、移動中には着ないワイシャツを入れる。

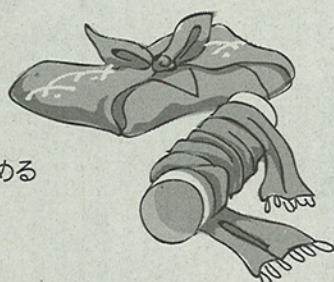
3層目にはメッシュ(網目)のポーチに入れた洗面用品を入れる。コンパクトと胃薬、風邪薬などはジッパー付きの透明ビニール袋に入れてからポーチに収めておくと、バラバラになりにくい。

美月さんのパッキングの基本ルールは「重いものは下」。安定感が出て中身が崩れにくい。美月さんのパッキングには衣類への気遣いと手間暇を省く方法が満載だ。

2層目には下着と靴下、Tシャツや運動着。「ギューギューに詰めるときに隙間を埋めたり、壊れやすいお土産を運ぶ際の緩衝材代わりにしたりする」

透明ビニール袋は予備を数枚持っておくと安心だ。液体類を機内に持ち込む際は、保安検査場で透明ビニール袋に入れなくてはならないが、「持っていないと買ってくるよう言われることがある」。

まず、湿気と衝撃対策。「シャツ」「スカーフ」など、アイテム別に風呂敷で包む。荷物を預けると貨物室に入るが、国際線などの長距離路線では冷気で湿りやすくなる。吸水性の優れたちりめん素材の風呂敷で衣類を包んでおく「安心」と話す。



最上層には移動中に使いたい本などを入れ、最後にスーツをバッグのストゥ収納部に入れて完了だ。

さらに、シワと形崩れ対策。帽子の中にはタオル、ブラジャーのトップの中にはストッキングを詰める。ストールやスカーフはラップの紙芯に巻く。シャツは背中部分に厚紙を当て、紙ごとクルリと折って太いゴムで止める。

美月あきこさんは17年間、国際線のキャビンアテンダントとして働いた。当時は月に約3回、長距離路線をフライトしていた。現在は企業向けの人材育成トレーナーとして、月の半分以上は国内の日帰り出張に出かけ、2〜3か月に1回は海外出張する。

そんな出張のプロが持っているバッグはやはりキャスター付きのキャリーバッグ。美月さんは飛行機に乗る時、手荷物以外は預けるといふ。バッグを持ち込む人が多いので、機内で荷物棚の確保が大変。早く受け取るためには、「DOOR SIDE」タグを付けてもらえば、回転台で先に出てくる。ただし、

衣類は風呂敷に包んで

航空会社によってはタグを付けるのは「乗り継ぎ時間が短い人」などに限っているのだから、確認しよう。

美月さんのパッキングの基本的ルールは「重いものは下」。安定感が出て中身が崩れにくい。美月さんのパッキングには衣類への気遣いと手間暇を省く方法が満載だ。

美月さんのパッキングの基本的ルールは「重いものは下」。安定感が出て中身が崩れにくい。美月さんのパッキングには衣類への気遣いと手間暇を省く方法が満載だ。